

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 4月 27日

アンケート期間:令和 6年 2月 10日～令和 6年 3月 2日

事業所名 S.I.C.KIDS知立校

保護者等数(児童数) 25名 回収数 25名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが1人2人の時は十分な広さだと思います。3人になると少し狭いかなと思います。 ・大きい子が数人いると少し狭いかなと思う。 ・開放的です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規定の広さを満たして運営しています。 ・利用児童によって活動スペースを工夫しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・1対1で支援してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規定の職員人数と専門職員を配置しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・靴や荷物置き場など分かりやすい。 ・絵や色など、視覚で分かりやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在通所中のお子様には不便がない配慮を、出来る範囲でしております。 ・常に改善しながら運営しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	23	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、清掃や片付けをされて、いつもきれいにしている。 ・本人に分かりやすい環境になっていると思う。 ・活動で必要な物がわかりやすく置いてある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、掃除・消毒・整理整頓を行い、施設全体の安全チェックも定期的に行っています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・療育の状態を見て計画してくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と保護者様のニーズを踏まえて職員による支援会議を行い、計画書を作成しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	20	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインがよくわからない。 ・子どもの特性に必要な支援をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な支援内容を設定しております。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りに行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿った支援を基本にしながら、お子様本人の日々の様子に合わせて支援を行っています。

	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	22	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なプログラムを取り入れている。 ・毎回子どものやる気が出るように考えてくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな職員が担当することで、社会性を育てながら支援内容も固定化しないように工夫しています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	0	13	9	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者だけの交流。 ・交流の機会はないが差し支えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・良い機会があれば検討してみます。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい説明があった。 ・利用する時に説明があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからもわかりやすい説明を心掛けます。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	24	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインがよくわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとにお子様ごの特性に合った個別支援計画を作成し、保護者様にご説明した上で、署名いただいております。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	10	7	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別で相談にのってくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家庭でも行える療育の提案については、フィードバックやお便りの中でもご紹介しています。是非ご活用ください。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が終わってから、その日の事を伝えてくれる。 ・活動後の話で、伝え合いは良く出来ていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回お迎え時の保護者様へのフィードバックの時間も大切にしています。 ・有意義な共有時間となるようにしています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	3	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にはやっていない。 ・必要に応じて時間を作ってくれる。 ・すぐに相談にのってくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困ったことや、悩み事などありましたら、お気軽にお声掛けください。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	15	6	—	<ul style="list-style-type: none"> ・検討してみたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・出来た事は褒めてくれ、困っていることを聞いてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも話しやすい環境を整えておきたいと思っています。

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	0	0	0	・連絡ノートで子どもに対しての情報を共有されている。	・これからも頑張っていきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	1	0	0	—	・インスタにて事業所の活動を投稿しております。是非ご覧ください。 ・動画につきましては、知立校独自の取り組みで行っております。言葉で伝えるに難しい姿や場面が上手く撮れた際にお見せして、ご希望があればお送りしています。たくさんはできませんが、タイミングよく撮れた際には是非お楽しみ下さい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	22	3	0	0	—	・鍵付き書庫に保管し、しっかり管理しております。ご安心下さい。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	22	0	0	3	・避難訓練をしてくれている。	・緊急時の避難場所は、事業所の入口やおたよりに載せてあります。ご確認の程、宜しくお願い致します。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	1	0	2	・定期的に避難訓練をしてくれていてありがたい。	・愛知県の規定に準じて、半年に1回必ず避難訓練を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	25	0	0	0	・楽しみにしている。 ・喜んで行っている。	・子ども達の笑顔を引き出していきますよう、これからも楽しみに準備してお待ちしています。
	23	事業所の支援に満足しているか	25	0	0	0	・本人も楽しそうにしているので満足。 ・良く工夫してやってくれていると思う。 ・今後も子どもの姿や様子に応じた専門的な説明に期待しています。	・お子様本人と保護者様おひとりおひとりのコミュニケーションを大切に支援していきたいと思えます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 6年 4月 27日

アンケート期間:令和 6年 2月 10日～令和 6年 3月 2日

事業所名 S.I.C.KIDS知立校

保護者等数(児童数) 43名 回収数 43名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	42	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースは十分だと思います。 ・活動の内容によっては十分ではない。 ・3名までの活動(運動療育)には十分だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規定の広さを満たして運営しています。 ・利用児童によって活動スペースを工夫しています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	42	0	0	1	—	<ul style="list-style-type: none"> ・規定の職員人数と専門職員を配置しています。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	25	9	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の建物ビル入口の階段前が、雨天時滑って危ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビルの共有の入口部分なので改善は中々難しく、雨の日はゆっくり歩くことを意識できるように、視覚でわかる貼り紙を毎回貼ることで配慮させていただいております。雨の日は滑るかも？と、子ども自身が危険回避を意識していけるように、保護者様からお声掛けいただけますと幸いです。可能な改善方法がありましたら、ビルの所有者様と相談してみますので、何卒ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。 ・その他、現在通所中のお子様には不便がない範囲の設備は整えております。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	43	0	0	0	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりのお子様の様子に合わせた支援計画を立てております。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	42	1	0	0	—	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫を凝らしながら固定化しないプログラムを考えています。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	3	17	12	—	<ul style="list-style-type: none"> ・良い機会があれば取り入れて参ります。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・常に話し合いが来ています。 ・説明も受けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明を心掛けていきたいと思えます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	43	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えやすい時間が取れているので、理解できていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回お迎え時の保護者様へのフィードバックの時間も大切にしています。 ・有意義な共有時間となるようにしています。

保護者への説明等	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40	2	0	1	・利用時に話す時間があるので、しっかり話ができていると思う。	・困ったことや、悩み事などありましたら、お気軽にお声掛けください。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	5	16	16	・保護者同士は分からないが、講演会などを開いてくれるととても有難い。	・検討してみたいと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	31	2	0	10	・対応は早いと思う。苦情が無い。	・いつでも話しやすい環境を整えておきたいと思います。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	0	0	0	—	・これからも頑張っていきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	43	0	0	0	・発信できていると思う。 ・定期的なお便りに色々な情報があって、とても参考になっています。 ・お願いすると動画を送って下さるので、とても嬉しいです。	・インスタにて事業所の活動を投稿しております。是非ご覧ください。 ・動画につきましては、知立校独自の取り組みで行っております。言葉で伝えるに難しい場面が上手く撮れた際にお見せして、ご希望があればお送りいたします。たくさんはできませんが、タイミングよく撮れた際には是非お楽しみ下さい。
非常時等の対応	14	個人情報に十分注意しているか	41	0	0	2	・しっかりできていると思う。	・鍵付き書庫に保管し、しっかり管理しております。ご安心下さい。
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	1	0	3	・防犯が分からない。	・緊急時の避難場所は、事業所の入口やおたよりに載せてあります。ご確認の程、宜しくお願致します。
満足度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	42	0	0	1	・子どもが「やったよ～」と教えてくれたので、やっていると思う。	・愛知県の規定に準じて、半年に1回必ず避難訓練を行っています。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	43	0	0	0	・やる気が出てきたと思う。 ・楽しめていると思う。 ・毎週とても楽しみにしている。	・子ども達の笑顔を引き出していきますよう、これからも楽しみに準備してお待ちしています。
	18	事業所の支援に満足しているか	43	0	0	0	・相談しやすく、すぐ答えが返ってくるので、ありがたい。 ・子どもが楽しく体を動かせるような遊びをいろいろ考えてくれている。	・お子様本人と保護者様おひとりおひとりとのコミュニケーションを大切に支援していきたいと思っています。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 30日

公表: 令和 6年 4月 27日

事業所名 S.I.C.KIDS知立校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・国の基準である児童一人当たり3平方メートル以上、指導員の目が届く空間で用意しております。	・活動に合わせてスペースを確保できるように譲り合いながら行っているが、児童によっては少し動きづらい時もあるかと感じます。譲り合う社会性を育むチャンスにしていきたいと思ひます。
	2 職員の配置数は適切である	○		・国の人員配置基準の規定に準じた職員数を満たしています。 ・作業療法士や学校教諭など、児童福祉分野での経験と専門性を備えた職員配置に努めております。	・ひとりひとりの専門分野も発揮しつつ、当事業所における支援内容に共通認識を持って、チームとして協力しながら療育を行う体制をとっております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・絵や写真で、視覚的にわかりやすい言葉で表示を作成しています。 ・活動や活動に使う教具の場所が視覚的にもわかりやすいように、設定しております。	・ビル1階建物をお借りして活用している為、トイレの扉は子どもにとって重めであったり、建物入り口の共有部分付近は雨の日に滑りやすいなど、子どもにとって少々不便な面もありますが、その様な環境に子ども自らが気づき、安全に扉を開ける方法の獲得や、雨の日はゆっくり歩くことを意識できるようになることで、生きていく為に必要な発達にも繋がると考えています。可能な改善方法があれば、ビルの所有者様と相談してみたいと思ひます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・職員全員で、掃除・消毒・整理を行っています。 ・毎日、教具の消毒を行い、清潔な環境を保っています。 ・空気清浄機の設置と、窓の開放によるこまめな換気をしています。	・今後も子どもたちが心地よく通うことのできる事業所を目指し、子どもたちの様子や活動に合わせて、活動空間の調整を適宜行っていきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員全体で支援計画を考察し、毎回の支援記録・朝の共有・帰りの振り返りを通して次回の支援に繋げています。	・全職員で行っていきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・開所年度より事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表するとともに、職員間でも結果を共有し、業務の改善に繋げています。	・保護者様からのご意見・ご感想をいただくと、業務改善へのヒントになることも有り、とても感謝です。これからも率直な意向を教えていただけますと有難いです。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年S.I.C.KIDSホームページ及びワムネットに結果を掲載して公開しています。	・より良い支援へと活かしていきたいと思ひます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	—	・当校の重要事項説明書「14自己評価結果等の公表について」に記載の通り、第三者評価は実施しておりません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・各自での自主的な研修受講をアウトプットして共有し、子どもの理解を深めて支援内容を見直せるよう、年間を通して研修の機会を設けています。 ・外部研修の参加や、内部研修により支援の質を高めるように努めています。	・各自で受けた研修など、様々な方向から支援実践力を高めていき、互いに意見交換もしていくことで、それぞれの専門性を深めていけるよう努めていきます。

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の希望と保護者様のご要望やご意見のモニタリングを基に計画を立て、職員による支援会議を行った上で、お子様の現状とニーズに沿った支援計画を作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの障がいの特性を把握し、自律へと繋がっていく支援計画の作成をしていくことを目標としています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシート、フェイスシート、モニタリング、原始反射チェックシート、相談支援員さんによる計画書、病院等での検査結果などの情報によって子どもの適応行動状況を把握しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回保護者様にフェイスシートをご記入いただき、半年に1回モニタリングを行うことで、ご家庭の様子などを把握しています。これからもご協力宜しくお願い致します。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した個別支援計画を基に、毎回プログラムを立て、本人の当日の様子や気持ちに寄り添いながら、具体的な目標達成に繋がるようにアプローチを行っています。 ・ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」に即した支援内容を個別支援計画に設定しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画を基に毎回プログラムを立て、本人の当日の様子や気持ちに寄り添いながら、具体的な目標達成に繋がるようにアプローチを行っています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援計画を元に、個別支援計画を作成し、子どもの様子を踏まえて支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画に沿った支援を行っています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・研修やSNS等で各自情報収集も行いながら、児童の様子に合わせて共有し、子どもたちが前向きに楽しく活動できるようチームで作成しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームワークを大切に、児童の特性に合わせたプログラムを考えていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事を取り入れたプログラムを考えたり、新しい教具を取り入れたり、少しでも活動に幅を持たせられるようにプログラムを工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童によっては、活動内容が固定化しがちになる事もありますが、ハマる遊びをやりきれない環境を整え、子供の成長を促せるような提案ができるよう、今後も工夫を施していきたいと思えます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援がメインのため、集団活動を組み合わせる計画は少なめだが、子どもの状況に合わせて可能な範囲で少人数での活動も少し組み込んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援をメインとして行っているため、集団活動を組み合わせる計画は、保護者様のご要望や、その時々状況に応じて、今後も可能な範囲で検討して取り入れていきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、朝礼で必ず打ち合わせを行い、当日行われる活動内容や注意事項などの共有と確認をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士でのコミュニケーションの活性化に努めたいと思えます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に振り返りを実施し、日報に記載している療育終了後にミーティングを行い、子どもたちの様子や相談事項について共有を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援で上手くいった内容、上手くいかなかった内容等を共有、相談、分析ができるような振り返りになるように努めていきたいと思えます。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業所の記録表に沿って子どもの様子や活動内容を記録し、毎回、前回までの記録を確認した上で支援を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回以降の支援に繋がるような記録を、適宜更新していきたいと思えます。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回モニタリングを実施し、計画の修正を行っている。期間内であっても、目標を達成していれば必要に応じて早めに見直すこともあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して行い、子どもたちの様子や課題に合わせて計画の修正を行ってきたいと思えます。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議には、児童発達管理者が中心となり出席しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議には児童発達支援管理責任者が中心に出席していますが、可能な範囲で児童指導員も一緒に参加しています。 ・担当者会議の内容は、後日、全職員に共有しています。 	

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・支援の関係機関との繋がりが広がってきています。	・引き続き、相談支援事業所と連携して支援を行うことができるよう、今後も、ひとつひとつの関係期間との繋がりを大切にしていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	・現在該当者はありません。	・現在該当者はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	・現在該当者はありません。	・現在該当者はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・療育園や幼稚園の園長先生が見学に来て下さったり、こちらからも見学に行かせていただく等、少しずつ情報共有の機会が広がりはじめています。	・各所との繋がりを増やし、情報共有と相互理解を今後も前向きに深めていきたいと思っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・まだ件数は少ないですが、保護者様や相談支援事業所から頂いた機会をもとに、少しずつ情報共有の機会が出来始めています。	・今後も良い機会を逃さず、検討していきたいと思っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・各市の相談支援員さんとは頻繁に連絡を取り合い、情報共有や助言等を受けています。また、障害者支援センターが開催している研修も受けています。	・相談支援員さんによる計画や、発達検査の結果を支援に活かしている。これからも、一つ一つの機会を大切に連携をしていきたいと思っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・療育園や幼稚園の園長先生が見学に来て下さったり、こちらからも見学に行かせていただく等、少しずつ情報共有の機会が広がりはじめています。	・障がいのない子どもとの交流の機会はないため、今後検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・積極的に参加しています。	・これからも積極的に参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回支援の入退出の際に、保護者様と、お子様の今日の様子や発達の課題について伝え合っています。	・短時間でも上手く伝え合っ共有できるように話しやすい雰囲気心掛け、保護者様と共通理解を持っていくことができるように努めていきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・支援終了後に、ご家庭でも出来る発達遊びをお伝えしたり、おたより等に記載して発信するなど、保護者様に向けたアプローチも取り入れております。	・引き続き当校で行っている内容を軸に、ご家庭でも取り組むことのできる内容をお伝えし、保護者様と共に子どもたちの成長をサポートできるように努めていきます。
保護者への説明書	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・重要事項説明書等に記載し、契約時に説明をさせていただいています。	・これからも丁寧な説明を心掛けていきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・半年に1度、一人一人の個別支援計画と共に、必ず、保護者様と対面で説明させていただいています。	・今後も、わかりやすい支援計画、支援内容を作成できるよう努め、丁寧な説明を心掛けていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・保護者様同士で情報共有や連携ができるような方法を模索中です。	・保護者様の悩みや困りごとが少しでも軽減されていくような助言や支援に努めていきたいと思ひます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者様同士で情報共有や連携ができるような方法を検討中です。	・今後、保護者様同士の連携を高められるような機会を検討していきたいと思ひます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者様から相談や申し入れがあった際には、丁寧な対応を心掛け、頂いた情報を基に職員間で共有・相談をし、少しでも迅速な対応に努めています。	・これからも良い体制を整備していきます。

責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタにて活動の様子などを投稿したり、必要に応じておたよりも発行し、保護者の皆様へ、知立校の活動概要などについての情報を発信しています。 ・定期的にお便りやSNSで発信させていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタへお子様の写真を投稿する際は、必ず保護者様へ確認をとっています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの書庫に厳重に保管をする等個人情報の取り扱いには十分に注意しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付き書庫に保管し、取り扱いには十分に注意しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り伝達を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからもできる限り伝達を行っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と繋がる方法を模索しているが、まだ具体的な機会は開いていないので、今後検討していきたいと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との繋がりは、今後少しずつ深めていきたいと思っています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の避難場所や避難の際については、事業所の入口やおたよりにて、お知らせしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これからも安心・安全に過ごせるよう、緊急時に備えていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の規定に基づき、半年に1回の避難訓練を子どもたちしたり、職員間で避難経路の確認などを行ったりしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も年に2回は必ず行う方針です。 ・必要性を感じる時は追加で行います。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・現在該当者はありません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在重要な事項の該当者はいませんが、必要な状況把握はしております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の提供を行っていないため、現在当事業所では該当致しません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の提供を行っていないため、現在当事業所では該当致しません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・終礼での伝達と、ヒヤリハットの記録用紙にて全員で共有しています。 ・事例に対しては毎回全職員で把握をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな出来事も全職員で共有していく方針です。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修会及び委員会を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も虐待防止研修会及び委員会を行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書に記載し、保護者様に説明しております。 ・職員全員が身体拘束について理解を深めていけるよう、話し合う時間を設けています。 ・必要に応じてその都度記載しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び出しや他児とぶつかりそうになる等、危険が伴う動きをした場合に体を受け止める等の一時的な身体拘束の他、切迫性・非代替性の3要件を、今後も職員全員で理解して参ります。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 3月 30日

公表: 令和 6年 4月 27日

事業所名 S.I.C.KIDS知立校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・教具の配置を変えながら支援をすすめています。	・規定の広さは満たしている為、活動スペースを工夫しながら環境を設定しています。 ・中学生の男子などは、もう少し広くしても良いかもしれないと感じております。
	2	職員の配置数は適切である	○		・規定に準じた職員数を満たしています。	・ひとりひとりの専門分野も発揮しつつ、当事業所における支援内容に共通認識をもって、協力しながら療育を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・靴箱や荷物置き場は、本人が自らできるような環境を整えています。 ・運動教具なども、全て視覚で把握しやすい工夫をしています。	・子ども達が自律できる環境へと改善を図りながら運営を進めていく方針です。 ・トイレは古いタイプで現在バリアフリーではありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員全体で支援計画を考察し、毎回の支援記録、朝の共有、帰りの振り返りを通して次回の支援に繋がっています。	・全職員で行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・年に一度、評価表を使用し、保護者様へのアンケートを行い、支援内容や業務改善に繋がっています。	・保護者様からのご意見・ご感想をいただくと業務改善へのヒントになることもあり、とても感謝です。これからも率直な意向を教えていただけますと有難いです。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年S.I.C.KIDSホームページ及びワムネットに結果を掲載して公開しています。	・より良い支援へと活かしていきたいと思えます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	—	・当校の重要事項説明書「14自己評価結果等の公表について」に記載の通り、第三者評価は実施しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・各自での自主的な研修受講をアウトプットして共有し、子どもの理解を深めて支援内容を見直すよう、年間を通して研修の機会を設けています。 ・外部研修の参加や、内部研修により支援の質を高めるよう努めています。	・各自で受けた研修など、様々な方向から支援実践力を高めていき、互いに意見交換もしていくことで、それぞれの専門性を深めていけるよう努めています。
9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・本人の希望と保護者様のご要望やご意見のモニタリングを基に計画案を立て、職員による支援会議を行った上で、お子様の現状とニーズに沿った支援計画を作成しています。	・ひとりひとりの障がいの特性を把握し、自律へと繋がっていく支援計画の作成をしていくことを目標としています。	

適切な支援の提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシート、フェイスシート、モニタリング、原始反射チェックシート、相談支援員さんによる計画書、病院等での検査結果などの情報によって子どもの適応行動状況を把握しています。	・年に1回保護者様にフェイスシートをご記入いただき、半年に1回モニタリングを行うことで、ご家庭での様子などを把握しています。これからもご協力宜しくお願い致します。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・研修やSNS等で各自情報収集も行いながら、児童の様子に合わせて共有し、子どもたちが前向きに楽しく活動できるようチームで作成しています。	・今後もチームワークを大切に、児童の特性に合わせたプログラムを考えていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・季節の行事を取り入れたプログラムを考えたり、新しい教具を取り入れたり、少しでも活動に幅を持たせられるようにプログラムを工夫しています。	・様々なアイデアを出し合い、子ども達が楽しめるように、今後も常に新しい工夫を施しながらすすめていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○	○	・曜日や時期によって設定変更はしていないがプログラムは毎回設定しています。	・曜日や時期によって設定変更は考えていないがこれからもプログラムは毎回設定していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別支援がメインのため、集団活動を組み合わせる計画は少なめだが、子どもの状況に合わせて可能な範囲で少人数での活動も少し組み込んでいます。	・個別支援をメインとして行っているため、集団活動を組み合わせる計画は、保護者様のご要望や、その時々状況に応じて、今後も可能な範囲で検討して取り入れていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝礼にて、当日利用するひとりひとりの子どもについて打ち合わせをし、必要な共有を行っています。	・職員同士でのコミュニケーションの活性化に努めたいと思います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・その日に支援した子ども達の様子を振り返り、次の支援へ向けて記録や伝達によってしっかりと共有しています。	・支援で上手くいった内容、上手くいかなかった内容等を共有、相談、分析ができるような振り返りになるように努めていきたいと思っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎回必ず記録を残し、次回以降の支援に活かしています。	・次の支援に向けて、わかりやすいように記録しています。 ・改善点があればその都度変更しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・個別支援計画の見直しの必要性を判断しています。	・半年に1回モニタリングを実施して計画の修正を行っています。期間内であっても、目標を達成していれば必要に応じて早めに見直すこともあります。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		・作成した個別支援計画を基に、児童の様子に応じて毎回プログラムを作成し、本人の気持ちに寄り添いながら具体的な内容に繋がるよう設定し、支援を行っています。	・子どもたちの可能性を大切にしながら活動を組み合わせさせて支援を行っています。	
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・担当者会議には出来る限り児童発達支援管理責任者が出席しています。	・担当者会議には出来る限り児童発達支援管理責任者が出席しています。 ・担当者会議の内容は、全職員に共有しております。	
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		・トラブル等の困った状況や、共有の必要がある場合に情報共有を行っています。	・今後も必要に応じて行っていきます。	

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	/	/	・現在該当者はありません。	・現在該当者はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・療育園や幼稚園の園長先生が見学に来て下さったり、こちらからも見学に行かせていただく等、少しずつ情報共有の機会が広がり始めています。	・各所との繋がりを増やし、情報共有と相互理解を今後も前向きに深めていきたいと思っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	/	/	・現在該当者はありません。	・現在該当者はありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・通院先のOTさんの助言をもとにプログラムを組んでいる児童もおります。	・相談支援員さんによる計画や発達検査の結果を支援に活かしています。これからも支援員さんや病院と連携していきたいと思っております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	—	・個別の運動療育をメインとしているため、そのような機会は設けていないが、ご要望や必要に応じて検討してみたいと思っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・積極的に参加しています。	・これからも積極的に参加していきたいと思っております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・毎回支援の入退出の際に、保護者様と、お子様の今日の様子や発達の課題について伝え合っています。	・短時間でも上手く伝え合って共有できるように話しやすい雰囲気を中心掛け、保護者様と共通理解を持っていくことができるように努めていきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		・支援終了後に、ご家庭でも出来る発達遊びをお伝えしたり、おたより等に記載して発信するなど、保護者様に向けたアプローチも取り入れております。	・引き続き、当校で行っている内容を軸に、ご自宅で取り組むことのできる内容等をお伝えし、保護者様と共に、子どもたちの成長をサポートできるように努めていきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・丁寧な説明を心掛けています。	・これからも丁寧な説明を心掛けていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・その都度その場で助言を行ったり、後日お返事するなど、必ずお答えする形でっております。	・保護者様の悩みや困りごとが軽減されていくような助言や支援を心掛けていきたいと思っております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者様同士で情報共有や連携ができるような方法を検討中です。	・今後、保護者様同士の連携を高められるような機会を検討していきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもや保護者様から相談や申し入れがあった際には、丁寧な対応を心掛け、頂いた情報を基に職員間で共有・相談をし、少しでも迅速な対応に努めています。	・これからも良い体制を整備していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・インスタグラムやお便りなどで、活動の概要や行事の様子などを発信しています。	・インスタへお子様の写真を投稿する際は、必ず保護者様へ確認をとっております。
	35	個人情報に十分注意している	○		・鍵付きの書庫に厳重に保管をする等個人情報の取り扱いには十分に注意しています。	・鍵付き書庫に保管し、取り扱いには十分に注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・出来る限りの伝達を行っています。	・これからもできる限り伝達を行っていきます。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・地域と繋がる方法を模索しているが、まだ具体的な機会は開いていないので、今後検討していきたいです。	・地域との繋がりは、今後少しずつ深めていきたいと思っています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	・緊急時の避難場所や避難の際については、事業所の入口やおたよりにて、お知らせしています。	・これからも安心・安全に過ごせるよう、緊急時に備えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	・愛知県の規定に基づき、半年に1回の避難訓練を子どもたちしたり、職員間で避難経路の確認などを行ったりしています。	・今後も年に2回は必ず行う方針です。 ・必要性を感じる時は追加で行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	・虐待防止研修会及び、委員会を定期的に行っています。	・今後も虐待防止研修会及び委員会を行っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	・個別支援計画書に記載し、保護者様に説明をしております。 ・職員全員が身体拘束について理解を深めていけるよう、話し合う時間を設けています。 ・必要に応じてその都度記載しています。	・飛び出しや他児とぶつかりそうになる等、危険が伴う動きをした場合に体を受け止める等の一時的身体拘束の他、切迫性・非代替性の3要件を、今後も職員全員で理解して参ります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	/	/	・食事の提供を行っていないため、現在当事業所では該当致しません。	・食事の提供を行っていないため、現在当事業所では該当致しません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	・事例に対しては、毎回ヒヤリハットの用紙に記載をし、全職員で把握をしています。	・小さな出来事も全職員で共有していく方針です。